



2024～2025 年度
大船渡西ロータリークラブ会報
七福人

会長 山口 徹
副会長 今野 義也
幹事 谷地 保



=会長指針=
笑顔でロータリー

・・・ 例会記録 ・・・

4月第1回例会 2025年4月3日(木)

ソング：君が代・4つのテスト ボックス：15,000円 (報告者 磐井公洋会員)

本日出席率：54.55% 前回修正後 48.48% (メークアップ 0名) (報告者 船砥俊昭会員)

★ 会長の時間：山口 徹 会長



みなさんこんにちは。去年の7月の例会で、食べ過ぎで体重が増えたので、体重を減らすためインターバルウォーキングをし始めた話をしましたが、なかなか体重を減らすことができませんでした。ところが今年に入って補助的ですが、ある機器のお陰で約1キロ体重を減らすことができました。それは仙台のヨドバシカメラの初売りで買ったスマートウォッチです。このスマートウォッチはすぐれもので、時間はもちろんですがヘルスケアの機能があり、どのくらい動いたか(カロリーの消費)、どのくらい歩いたか(万歩計)、睡眠の質も測定してくれます。また心拍数が測れ、心電図も見られます。万歩計の機能では歩数だけではなく、歩いた距離、歩く速度、ストレス度もリアルタイムで見られます。よくマラソンランナーがちらちら見ているやつです。一日の目標は1万歩で足りないときは夕方、寒い時や雨の日は、仕事で毎日訪問している大船渡病院の病棟の階段を1階から6階まで徘徊しております(だいたい2キロから3キロ)。暖かい日は盛川の河川敷を歩いて1万歩になるよう調整しています。達成するとメダルがもらえるので励みになります。またスマホ、LINEにも連携しています。普段スマホは音が出ない設定にしているので電話がきても気づかないことが多いのですが、スマートウォッチが振動して教えてくれます。通話もできます。このスマートウォッチは私にとってなくてはならない必需品で、お風呂以外は一日中着けております。密かな楽しみはゴルフナビ機能です。今月18日の地区大会のゴルフでデビューします。はたして結果はいかに?よい報告ができるよう頑張ります。

最後に、残念ながら最近例会の出席率が低迷しております。お仕事等お忙しいとは思いますが時間のやりくりをして何卒、例会出席よろしくお願いします。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

⑩ RLI 研修パートIIIの案内が届いています。

日 時 5月10日(土)9時～16時10分 場 所 アイーナ
登録料 1,500円 締め切 4月18日

⑩ 第9回日台ロータリー親善会議札幌大会二次受付の案内が届いています。

開催日時 5月31日(土)式典 15時30分～懇親会 18時～
会 場 グランドメルキュール札幌大通公園 締め切 4月21日

2 ガバナーエレクト事務所より

地区ラーニングアセンブリ開催案内が届いています。

日 時 5月11日（日）10時～15時15分

場 所 仙台育英学園高等学校宮城野校舎

登録料 1人4,000円 締め切 4月11日

3 奥州水沢東RC 佐藤勝巳さまより

グローバル補助金を使ったカンボジア支援を主導頂きました守口イブニングロータリークラブとの食事会の案内が届いています。

日 時 4月20日（日）11時～12時45分

場 所 水沢グランドホテル

会 費 1人3,000円 締め切 4月10日

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

フリーアワー：松田福美会員卓話



皆様こんにちは、本日は卓話予定だった新入会員の自己紹介が都合により延期となりましたので、急遽私が卓話を努めることとなりました。皆様の貴重なお時間をいただいての卓話となりますので、一生懸命お話ししたいと思います。よろしくお願ひいたします。

まずは自己紹介をしたいと思います。名前はみなさんご存じの通り松田福美と申します。仕事は生命保険と損害保険の代理店をしております。趣味はダイエットとガーデニングですが、最近ではガーデニングより家庭菜園を頑張りたいと思うようになりました。ロータリーの仲間の中には農作業を得意とする方もいるので、わからないときには教えて頂きたいと思っています。

それでは、本日のテーマ「自然災害と備え」についてお話ししたいと思います。私たちの生活には予期せぬ自然災害が数多くあります。特に先日起きました大規模林野火災や水害、そして地震などが頻発しており、私たちの生活を脅かしています。今日のお話ではこれらの自然災害に備えるための保険について、損害保険がどのように役立つかをご紹介いたします。

まずは、自然災害の備えのお話をする前に、こちらをご覧ください。【大船渡市大規模林野火災により避難、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。消防活動にご尽力いただいた消防団員や消防士、自衛隊の皆様に感謝申し上げます。の言葉と支援物資をお届けした時の写真2枚】こちらの写真は先日の林野火災によりご自宅を焼失してしまい綾里地区の綾姫ホールに避難されている方へ、支援物資を届けた時の写真です。また、東京海上日動様のご協力でスマートサプライビジョンというプラットホームを活用して全国の皆様より支援物資、スポーツマットや、バスタオル、タオル、生理用品等が寄せられ直接被災した方々へお届けしておりました時の写真です。

綾里、外口地区へは避難解除後二日目の午後に、仕事がら被災されたお客様のところへ向かいました。案内してくれた人は、綾里に住んでいるうちの社員で車内から見える景色を指さし「ここも焼けた、あそこも焼けた」という言葉と建物が焼失した場所を目の当たりにして胸が締め付けられる思いになりました。

14年前の震災を彷彿とする情景には思い出したくないあの情景がフラッシュバックし、この道を毎日出勤してくる社員の気持ちを思うと何とも言い表せられない気持ちになりました。

先日の林野火災のお話をしましたが、それではここから台風や地震などの自然災害の現状をお話したいと思います。

発生日時 2019年10月12日から10月13日 災害名『台風19号(ハギビス)』 台風19号は猛烈な風と大雨を伴って日本を直撃し、大規模な水害を引き起こしました。特に関東地方、東北地方、北陸地方で大きな影響が出ました。被害状況は死者90人以上、負傷者1,000人を超えるました。また行方不明も発生しました。河川の氾濫や堤防の決壊が原因で、広い範囲で浸水が発生。特に、長野県、福島県、茨城県、千葉県、東京などで、家屋が浸水し、住民が避難する事態となりました。

二つ目は、2021年7月九州豪雨発生日時 2021年7月3日から7月5日 災害名『令和3年7月豪雨』 規模 2021年7月に発生した豪雨は死者70人以上、行方不明者は数十人にのぼりました。

特に九州南部や四国地方に大きな影響を与えました。記録的大雨により、九州、四国、近畿地方の広範囲にわたって水害が発生しました。

次に三つ目のケースになります。発生日時: 2016年4月14日(前震)、4月16日(本震) 地震名: 熊本地震です。被害状況: 人的被害: 死者は約200人、負傷者は約2,500人以上

建物の被害: 家屋の倒壊や損壊が多数発生。特に熊本市や益城町などで多くの建物が壊れました。地震により、住宅や商業施設などの広範囲にわたって損壊が発生しました。

インフラの損壊: 道路や鉄道、空港、橋などが損壊し、交通が麻痺。熊本空港や一部高速道路が使用できなくなりました。震度: 最大震度7(本震)でした。

四つ目発生日時: 2022年3月16日 地震名: 2022年福島県沖地震 規模: M7.4

被害状況: 人的被害: 死者は1人、負傷者10人

建物の被害: 一部の地域で倒壊や損壊が発生しました。特に福島県や宮城県で被害が大きかったです。インフラの損壊: 停電や道路の損壊が発生し、交通が一時的に麻痺しました。

最後、五つ目は皆さんの記憶もまだ新しい発生日時: 2023年1月1日 地震名: 能登半島地震 規模: M6.7 被害状況: 人的被害: 死者1名、負傷者は数十人 建物の被害: 特に石川県能登地方で建物の損壊や倒壊が発生しました。インフラの損壊: 交通網の一部が麻痺したり、停電が発生しました。

総務省の「令和元年住宅・土地統計調査」より

2023年時点で、日本の総世帯数は約5,300万世帯となっています。

2020年頃の統計では、住宅用火災保険(住宅火災保険)の加入率はおおよそ90%以上と言われています。

火災保険の主な補償内容

- 1・火災による損害 : 住宅や家財が火災で損壊、焼失した場合の補償。
- 2・落雷による損害 : 雷が原因で家屋や家財に火災が発生した場合の補償。
- 3・破裂・爆発による損害 : ガス漏れや爆発が原因で生じた火災や損害の補償。
- 4・風災(台風など)による損害 : 台風や強風で家屋や家財が損壊した場合の補償。
- 5・水災(水害、洪水)による損害 : 大雨や洪水によって生じた浸水や水害による損害の補償。
- 6・雪災による損害 大雪や雪 : 下ろしの際の雪の重さで家屋が損壊した場合の補償。
- 7・盗難による損害 : 住居に侵入され、家財が盗まれた場合の補償。

8・地震、津波による損害（オプションで追加）

地震や津波による損害は通常の火災保険では補償されないが別途地震保険を追加することでカバー可能。

火災保険契約の 69.7% (全国平均) が地震保険を付帯しています。岩手県は 75.5%

1. 宮城県 89.3% 2. 高知県 87.5% 3. 熊本県 85.9%

ご自宅の火災保険に地震保険は付帯されているか確認しましょう

水災補償の付帯率は公表されていません。水災補償は、自然災害の中でも予測が難しく、被害が広範囲にわたるため、非常に重要な保障です。

大雨や台風、洪水、土砂災害などに備えて、事前に補償を付けておくことで、リスクに対してしっかりと備えることができます。

自然災害への備え

1. 避難計画と避難場所の確認

避難場所の確認:

住んでいる地域の避難場所や避難経路を確認し、家族や周囲の人と避難計画を立てておくことが重要です。特に洪水や地震などが予測される場合に、早めに安全な場所に避難できるように準備します。

避難訓練:

実際の避難に備えて、定期的に避難訓練を行い、緊急時に迅速に行動できるようにしておきます。

2. 非常持ち出し袋の準備

水と食料:

少なくとも 3 日分の飲料水と食料を備蓄します。特に、非常食や缶詰など、長期間保存できるものを選びましょう。

重要書類:

住民票や保険証、身分証明書、金融関連の書類などの重要書類を防水性の袋にまとめておき、持ち出し袋に入れておくと安心です。

生活必需品:

携帯電話の充電器、懐中電灯、ラジオ（電池式または手回し式）、医薬品、マスク、衛生用品（ウェットティッシュや消毒液など）も準備しておきます

3. 家屋の耐震・耐水対策

耐震補強:

特に地震が多い地域では、家屋の耐震補強が重要です。家具の転倒防止対策や、家屋の基礎や壁の補強を行いましょう。

洪水対策:

洪水が予想される地域では、家屋の基礎を高くしたり、排水設備を強化することが有効です。

また、窓やドアに防水シートを設置することも検討できます。

4. 家具や家電の固定

地震や強風が予想される場合、家具や家電が倒れないように壁に固定したり、転倒防止具を使うことが効果的です。

特に重い家具や家電は、落下によるけがや火災を防ぐためにも固定しておくと良いです。

5. 防災用の設備や技術の導入

火災警報器の設置:

火災が発生した際にすぐに気づけるように、各部屋に煙探知機や火災警報器を設置しましょう。

非常用発電機:

停電時に必要な電力を確保するために、非常用発電機やソーラーパネルを設置しておくと便利です。

防犯カメラやセンサーライト:

洪水や台風などで避難した後、家の安全を守るために防犯カメラやセンサーライトを設置するのも一つの対策です。

6. 地域の災害情報の把握

防災アプリの活用:

災害情報をいち早く受け取るために、防災アプリや緊急速報サービスをスマートフォンにインストールしておきましょう。

ラジオの活用:

停電などで情報が途絶えた場合に備えて、ラジオや手回しラジオも準備しておくと便利です。

7. 地域との協力

地域の防災訓練に参加: 近隣住民と協力し、定期的に防災訓練や避難訓練に参加することで、災害時にお互いに助け合える体制を整えることが重要です。

地域情報の共有:

近所の高齢者や障害者など、災害時に助けが必要な人たちの情報を地域で共有し、互いにサポートできるようなネットワークを作っておきましょう。

8. 気象情報の確認

天気予報や警報のチェック:

特に台風や大雨が予想されるときは、気象情報をこまめに確認し、早めに備えることが重要です。気象庁や自治体から発信される警報や注意報を注意深く見ておきましょう。

9. 災害後の情報整理と連絡手段の確保

SNS や災害伝言板の活用:

災害発生後は、電話回線が混雑することがあります。SNS やインターネットを通じて家族と連絡を取る、または災害伝言板を利用して安否確認を行いましょう

10. 保険に関する知識の確認

保険内容の見直し:

自然災害に備えるために、火災保険や地震保険、生命保険、車両保険などの補償内容を定期的に見直し、必要な追加や変更を行います。

保険についての備えは、大船渡西ロータリークラブ内には私のほかにも谷地保険の谷地さんもいらっしゃいますので、わからないことがありますたらお気軽にご相談していただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。